

「美讃」による大規模災害対応訓練を実施

高松港湾・空港整備事務所

沿岸防災対策官 山崎 清志

1. はじめに

平成25年8月22日（木）、香川県小豆島町内海港の草壁に於いて、当事務所が所有する海面清掃兼油回収船「美讃」を活用した大規模災害対応訓練を実施しました。

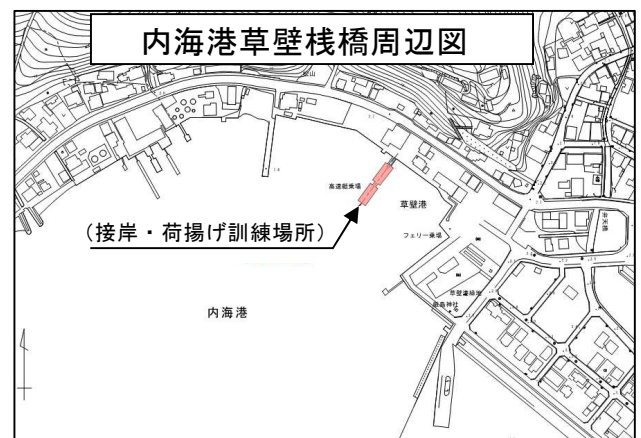
本訓練は、日常は海面浮遊ゴミ等の回収作業を実施している「美讃」による、大規模災害発生時における対応の1つとして、離島への緊急物資や自治体への支援要員を輸送することを念頭に、実際に訓練用の物資を輸送し、荷下ろしを行ったものです。

2. 訓練の概要

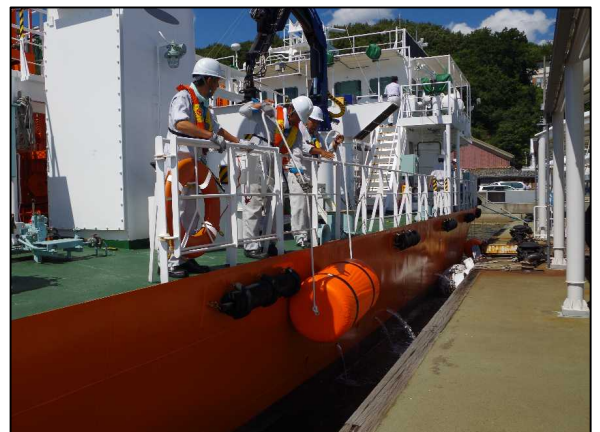
1) 「接岸」訓練

離島への接岸訓練は、美讃としては昨年の丸亀市本島港に引き続き2度目の訓練として実施しました。

訓練では、日常の海面浮遊ゴミ回収作業では接岸することのない離島の港湾施設へ、実際に接岸してみることで、港内の潮流や水深、係留施設の設備等が把握でき、今後接岸する際の貴重な経験となりました。



写真－1 浮き桟橋への接岸の様子



写真－2 接岸のため使用した仮ブイ

2) 「荷揚げ」訓練

荷揚げ訓練では、普段は海面を浮遊している流木等の大きなゴミを、船内に回収する際に使用している多関節クレーンにより、荷揚げ用パレットに積載している物資を、浮き桟橋に荷揚げしました。

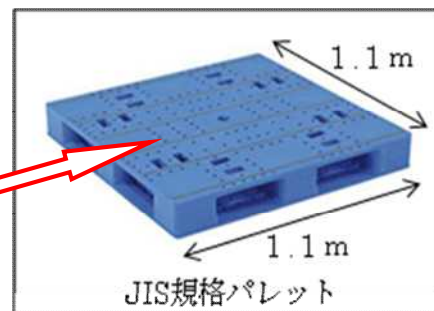
訓練にあたっては、前回の訓練において抽出した課題を踏まえ、事前に職員が施設の現状を確認し必要な準備を行ったため、スムーズに浮き桟橋への接岸・荷揚げを実施することが出来ました。



写真－3 昇降設備の設置



写真－4 荷揚げ訓練の様子



荷揚げ訓練に使用したパレット

3. おわりに

訓練当日には、猛暑の中、小豆島町の塩田町長を始め、自治体関係者の方も訓練や美讃船内の視察に訪れて頂き、久米所長より海洋環境整備事業や美讃の特徴について説明を行いました。

船内では、瀬戸内海の水質改善に向けて美讃が回収できるゴミの種類、浮遊ゴミ等を回収出来る区域などについて質問があり、当事務所が実施している海洋環境整備事業や、大規模災害時の取り組みについてのご理解を深めて頂けたと思います。

最後になりましたが、今回の訓練に際しご協力頂きました、小豆島町関係者、内海フェリー(株)を始め地元関係者の皆様、この場をお借りしましてお礼申し上げます。



写真－5 船内を視察される塩田町長



写真－6 船内の視察（ゴミ回収コンテナ）